



市内産米の認知度向上・消費拡大へ

## 米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 図 産業経済課

令和7年12月6日、7日に「第27回 米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in つくばみらい」を開催しました。日本全国、そして世界各国から5,070点もの出品がありました。日本全国・世界のお米と競う貴重な機会となった本大会をきっかけに、市内産米の更なる認知度の向上と消費拡大に取り組みます。



※画像はイメージです

「攻めの農業」を目指して

## 米流通拠点を整備 図 産業経済課

これまで「みらい型農業」として、農業に関するさまざまな施策を通じて、市内産米のPRや消費拡大に取り組んできました。最近では、市内産米の認知度や魅力が高まっており、需要に対応するための米の確保や、販路拡大による米農家の所得向上が重要となっています。そこで、令和9年度の開業を目指し、米の保管・精米・配送などをワンストップで行える「米流通拠点」を整備します。福岡工業団地に隣接した約5,000㎡の土地に、米を約960トン保管できる倉庫を建設し、民間のノウハウや活力を活かした施設運営をします。また、直売所を併設することで、新たな雇用やにぎわいを生み出します。



## 市内産米を使った金芽米の力でさらなる活躍を 慶應義塾大学ラグビー部に 金芽米を提供 図 産業経済課

市内産米のPRや消費拡大の取り組みの1つとして、令和7年9月から、慶應義塾大学ラグビー部に市内産米を使った金芽米を提供しています。同月、小田川市長がラグビー部を表敬訪問し、本市の米づくりに対する想いや市内産米の美味しさを伝えました。美味しさと栄養を兼ね備えた金芽米を食べ、さらなる活躍を期待しています。

※金芽米は東洋ライス(株)の登録商標です。